

図書館通信



豊かな時間を図書館で

平成30年

1



第442号 (第36巻第10号)

【目次】

P 1	新こぐま号のご案内	P 6	図書館職員コラム
P 2-3	行事のお知らせと 図書館からのお願い	P 7	わたしのおすすめ本
P 4	活動の報告	P 8-11	新着図書案内
P 5	アーニス分館だより	P 12	カレンダー・施設案内

編集・発行 登別市立図書館

URL <http://www.noboribetsu.ed.jp/~iinkai/library/>

〒059-0012 登別市中央町5丁目21-1

E-mail toshokan@city.noboribetsu.lg.jp

電話 (0143) 85-4324 FAX (0143) 85-4325

こぐま号新キャラクターの名前と車両デザイン 投票イベント実施のお知らせ

登別市では、室蘭信用金庫様の創立100周年記念寄付事業によるご協力をいただき、今年度中に移動図書館車「こぐま号」を更新します。

これまで以上に皆様に親しまれる「こぐま号」となるよう、日本工学院 北海道専門学校様にデザインのご協力を頂いて、平成29年7月～8月に更新記念事業第1弾である新キャラクターの「なまえ・ぬりえコンテスト」を実施いたしました。

このたび、記念事業の第2弾として、コンテストで寄せられたキャラクター名の候補と車体デザイン案への投票イベントを実施いたします。

参加対象は幼児～小学生で、市内の幼稚園・保育所・小学校を通じて3学期に応募用紙を配布いたします。市内の室蘭信用金庫各店舗と図書館（本館）で投票を受け付けますので、ぜひ応募ください。

なお、ぬりえコンテストの入選作品は2月に図書館で展示する予定です。

お問い合わせ 登別市立図書館 ☎85-4324

行事のお知らせ

毎月恒例！映画会

こども映画会

1月6日(土)午前10時30分～

くまのがっこう
ジャッキーのパンやさん
(アニメ36分)

おにたのぼうし
(アニメ18分)

場所：図書館3階会議室 入場無料どなたでもご覧いただけます！

新春映画会

1月6日(土)午後1時30分～

綾小路きみまろ
エキサイトライブビデオ第3集
～中高年よ！大志を抱け～(DVD85分)

爆発的ヒットを続ける中高年のアイドル綾小路きみまろの爆笑ライブ
喋りと動きの波状「ロ」撃に、あなたはどこまで耐えられるか！
芸能生活35周年記念集大成のノンストップライブ完全収録！

場所：図書館3階 会議室 入場無料 どなたでもご覧頂けます！

今月のスペシャルイベント

おはなしほけっと 主催

しんしゅん たいかい

新春かるた大会

にちじ：1月16日(火)10:30～12:00
ほしよ：3かい かいぎしつ
おもうしこみ：図書館1かい じどうしつ まで

ひらがながよめれば、
だれでもさんかできます！

平成29年度 絵本講座

大人だからこそうけとめられるもの

日時：平成30年1月20日(土)
午後1時30分～3時

講師：瀧内智子氏

会場：登別市立図書館3階会議室
入場：無料・申し込み不要

【講師プロフィール】
絵本に学ぶ会 会長
絵本をたのしむ会 顧問
登別市市史編纂委員
登別市朗読ボランティアの会

絵本は子どもが楽しむものという先入観をお持ちの方も多いと思いますが、絵本は大人にとっても、気づきやリラックスなど様々な効果があるとされています。「大人こそ絵本を読んで欲しい」絵本の魅力について語っていただきます。

「第11回登別図書館まつり」講演会「大人だからこそうけとめられるもの」(平成27年11月5日開催)の続編です。

お問い合わせ：0143(85)4324 登別市立図書館

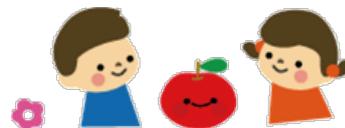
おはなし会

おはなしくれよん

わらべうたや絵本を楽しむ会などを行います。

日時 1月17日(水) 午前10時30分～

場所 3階 会議室



えほんのへやのおはなしかい

図書館の職員が絵本や紙芝居の読み聞かせをします。

日時 1月13日(土) 午後2時～

場所 1階 えほんのへや

おはなしぽけっと

絵本や紙芝居の読み聞かせ、エプロンシアターなどを行います。

日時 1月27日(土) 午後1時30分～

場所 1階 えほんのへや

*日時や内容が変更・中止になる場合があります。ホームページや広報にてご確認ください。

図書館からのお願い

～ 本を大切に ～

冬の訪れとともに雪の降る日も多くなってきました。借りた本を持ち運ぶ際は水濡れ、汚れ、破れなどにご注意ください。

特に水濡れは、ページの波打ちや貼りつきの原因となります。

図書館の本はみなさんでご利用いただくものです。袋に入れるなどご配慮いただけますようお願いいたします。



事業報告

「図書館を育てていくための市民の集い」開催

1月11日（土）午後3時より、「登別市の図書館を育てていくための市民の集い」（第一回図書館市民懇談会）を開催しました。

この懇談会は、登別市の図書館を「育てていく」という視点で、市民の皆さまに、図書館へのご要望やご意見を自由に語っていただき、図書館と意見を交換し交流することを目的に開催したものです。

図書館からは、各業務の担当者など職員7名が参加しました。

懇談会では、前半、現在策定作業中の「登別市立図書館のめざすもの」の素案について図書館側から趣旨と内容をご説明し、ご意見を伺いました。

後半は、参加された16名の皆さまから、登別の図書館について自由に語っていただきました。

参加者の皆さまからは、新聞の購読や寛げるスペース・駐車場についてのご要望、情報発信についてのご意見、市民協働による郷土資料のデジタル化などのご提案がありました。

ご意見やご要望のほか、図書館の蔵書や20回を超えたビブリオバトルなど、登別図書館の選書や活動について評価していただく声も頂戴しました。

「市民の集い」は今回はじめて開催いたしました。開催にあたっては、図書館協議会の助言や、「図書館まつり実行委員会」（10月26日開催）での図書館ボランティアの方々のご意見を参考に、「敢えて方向性や進行のルールを定めず、皆さんに自由に語っていただく場」となることに留意しました。

「市民の集い」は今後も継続して開催します。ぜひ、登別市の図書館について皆さまの声をお寄せください。※次回の開催日程等につきましては、市の広報や図書館通信でお知らせいたします。



「登別まちゼミ2017」に参加 アーニス分館

1月25日（土）アーニス2階の会議室をお借りして、「クリスマスカードをつくろう」が午前11時と午後2時の2回に分けて行われ、幼児から大人まで幅広い世代の方にご参加いただきました。

図書館の資料を参考にして、台紙やクリスマスツリーの色を選ぶところから始めました。様々なパーツをデコレーションし、それぞれのクリスマスカードを作り上げました。

皆さんとても熱心に工夫をこらしてくださって、あっという間の1時間でした。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



「読書感想文・読書感想画コンクール表彰式」開催

12月16日（土）午後2時より、小・中学生の読書感想文・感想画コンクール表彰式を開催しました。

今年で43回目となる読書感想文コンクールには、小・中学生合わせて449点、15回目の節目を迎えた読書感想画コンクールには小学生から78点の応募がありました。

感想文の入選者65名と感想画の入選者10名に表彰状と記念品が贈られた後、小学生・中学生それぞれの代表による作品朗読が行われました。

また、表彰式に合わせて、入選作品をまとめた文・画集「本は友だち」を図書館で配布しておりますので、ご希望の方は来館時にお声かけください。



アーニス分館だより



アーニス分館では

- * 「今月のおすすめ」の展示を行っています。
- * 雑誌は最新号の一夜貸しも行っています。
- * リサイクル本コーナーもあります。
- * 見やすい大活字本があります。
- * 貸出が済んだ本は、アーニス分館入口前の「お休み処」で読む事が出来ます。



DVDコーナーの案内



- ★ 1日1回のご利用となります。(館内視聴のみ)
- ★ DVDコーナーは2ヶ所あり、複数でご覧頂けます。

DVDソフトは、このほか子ども達に根強い人気のドラえもんやジブリシリーズの映画、かつて人気のあったドラマの他世界遺産・プロジェクトX等大人の方も楽しめるソフトもございますので、是非一度ご利用ください。

《新刊おすすめ本紹介》



魔法水でシミが落ちる! 横倉靖幸(著) / 芙蓉社ムック

クリーニング店を経営する著者が教える万能染み抜き剤「魔法水」。難しい調合ではないので気軽にトライ出来そうです。他にも素材別の洗濯方法やアイロン掛けなど知って得する情報がたくさん掲載されています。

真新しいズボンに油染みがついて、2度程手を尽くして洗濯しましたが、1度乾いてしまった染みは、落ちませんでした(T_T)
しかし! この本に書いてあるアル物でなんと油染みとさよなら出来ました!! 衣類の染みにお困りの方・アル物が気になる方必見ですよ(^_^)/



本格的な寒さがやってまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

寒さに弱い私としては、冬が一番苦手な季節です。乾燥して肌がカサカサになるし、暗くて朝起きるのが辛いし でも、こたつでぬくぬくしながらあったかいココアを飲んで、本や映画を見るのも、寒い季節だからこそできる楽しみですよね！



私は、昨年からアーニス分館で勤務させていただいております。

たくさんの本に囲まれながら、皆様との新しい出会いもあり、楽しくお仕事をさせていただいています。

お客様から、「お仕事は慣れましたか？」「今日は寒いですね。」などと、お声を掛けていただくことも増え、とっても嬉しいです。いつも来ていただいているお客様に、「ここは暖かいね。ここに来るとほっとするの。」と、笑顔でお声を掛けていただき、とても幸せな気持ちになりました。

子供の頃、大好きな本を何度でも読みたくて、放課後の学校の図書室にこもった思い出があります。自分よりはるかに背の高い本棚をいつも見上げていました。『この物語の続きはどうなったのだろう』と考えては、好きなように情景を思い浮かべて、想像の世界を楽しんでいました。

自分の子供にも本を好きになってほしくて、幼い頃図書館でたくさん絵本を借りて読み聞かせをしました。絵本の内容に子供と一緒に感動して心が洗われた時もあります。子育てに追われて、自分の時間もなく、しばらく読書から遠ざかっていましたが、今またお仕事をきっかけに本と再会することができました。読書をして本の世界に没頭すると、ストレスが軽減してリラックス効果が得られると言われています。毎日せわしく過ぎる日々の中、ちょっと疲れたなーなんて思う日、気分転換したいなって思う日は、家でもなく学校でもない、図書館を利用してみませんか ♪



大切な思い出の本、心の支えになる本、
元気にしてくれる本、悩んでいることの答えをくれる本、
これからの人生のきっかけになる本。

今年も皆様の心を潤してくれる素敵な本に出会えますように… ✨





「ワンダー」 R.J.パラシオ作，中井 はるの訳，ほるぷ出版

オーガスト・プルマンはふつうの男の子。ただし、顔以外はー。

という言葉が印象的なこの本は、ベストセラーになり実写映画化もされたとても有名なアメリカの児童書です。

障がいを抱えながらも、明るくユーモア溢れ「スター・ウォーズ」が大好きなオーガストという少年。物語はオーガスト本人や、周りの人々それぞれの目線へと移りながら、独白の形式ですすんでいきます。

読み手によって感情移入をする視点が違ってくると思いますが、わたしの場合は、オーガストのお姉さんであるヴィアのひたむきな言葉に、こみ上げてくる物を感じてしまいます。もっとも近しい所からオーガストを見ていて、そして一番理解もしながら疎外感もかかえている姉という立場は、言葉に尽くしがたい我慢を強いられるでしょう。

弟はどんな人よりも聡明で可愛らしい存在なのに、外見が人と少し違うだけで誰もわかろうとしてくれない歯がゆさ、その反面「弟が最優先、自分は二の次なの？」という寂しさが響いてくる時に、思わずオーガストと共にヴィアの事も抱きしめてあげたくなってしまったり、私も年を重ね親のような気持ちが生まれてきたことの証なのかも知れません。

機会がありましたら、ご一読いただければと思います。そして読後には、自分がどの人の視点と一緒にオーガストを見守っていたのかな？と、思いを馳せてみてください。



郷土資料紹介

「知里幸恵物語 アイヌの「物語」を命がけて伝えた人」

金治直美著，PHP 研究所



遠い昔からアイヌの人々に口伝えで受け継がれてきた神話や英雄の伝説を、ローマ字でアイヌ語を記すと同時に、美しい表現で日本語へと訳してまとめ上げ、豊かな響きの叙事詩を後世へと残した知里幸恵さんの生涯を描いています。

知里幸恵さんのことを知っていたつもりでしたが、こんなにも若くしてその偉業を成し遂げ、そして早世されていたことを、この本を通して改めて目の当りにしたような思いでした。

自分のルーツや文化にどれだけの誇りを持って今を生きているだろうか。

19歳という年齢の時に、こんなにも何かへと情熱を傾けることが、できていたのだろうか。その尊い生き方を垣間見ているだけで、自分自身にそう問いかけずにはいられなくなるかも知れません。

新 着 図 書 案 内 平成30年1月 No.1

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書 名	著 者	書 名	著 者
913 日本の小説		エクスプロード (捜査一課殺人班イルマ 3)	結城 充考
● クリスマスを探偵と	伊坂 幸太郎	● 波濤の城	五十嵐 貴久
たゆたえども沈まず	原田 マハ	みさと町立図書館分館	高森 美由紀
吾輩は作家の猫である	高橋 克彦	屍人荘の殺人	今村 昌弘
● あきない世傳金と銀 4 貫流篇	高田 郁	乱世をゆけ 織田の徒花、滝川一益	佐々木 功
● キラキラ共和国	小川 糸	焼け跡のハイヒール	盛田 隆二
ミ・ト・ン	小川 糸	十津川警部山手線の恋人	西村 京太郎
● 猫ヲ捜ス夢(蘆野原偲郷)	小路 幸也	世界で一番のクリスマス	石井 光太
オペレーションZ	真山 仁	● 森へ行きましょう	川上 弘美
人間タワー	朝比奈 あすか	● トップリーグ	相場 英雄
● 西郷どん! 前・後編	林 真理子	● 百貨の魔法	村山 早紀
● オブリヴィオン	遠田 潤子	崩れる脳を抱きしめて	知念 実希人
白霧学舎探偵小説倶楽部	岡田 秀文	酒が仇と思えども	中島 要
太閤私記	花村 萬月	エッグマン	辻 仁成
● ミステリークロック	貴志 祐介	他に好きな人がいるから	白河 三兎
● 鶏小説集	坂木 司	西郷隆盛その生涯	不破 俊輔
毒母ですが、なにか	山口 恵以子	欺きの童霊(溝猫長屋祠之怪 3)	輪渡 颯介
● 僕はロボットごしの君に恋をする	山田 悠介	9 その他の文学	
消人屋敷の殺人	深木 章子	● スティール・キス (リンカーン・ライムJシリーズ 12)	ジェフリー・ ディーヴァー
三世代探偵団 次の扉に棲む死神	赤川 次郎	忘れる女、忘れられる女	酒井 順子
双生児	折原 一	● ほの暗い永久から出でて	上橋 菜穂子
白い久遠	浅野 里沙子	● ブラックボックス	伊藤 詩織
● 覆面作家	大沢 在昌	日本文学全集 15 谷崎潤一郎	池澤 夏樹 個人編集
くじら島のナミ	浜口 倫太郎	日本文学全集 18 大岡昇平	池澤 夏樹 個人編集
虎の牙	武川 佑	日本文学全集 22 大江健三郎	池澤 夏樹 個人編集
米澤穂信と古典部	米澤 穂信	● ていだん	小林 聡美
● 戦の国	冲方 丁	● 13・67	陳 浩基
アナログ	ビートたけし	絵本作家の百聞百見	川端 誠
窮鼠の一矢	河合 敦	100歳の生きじたく	吉沢 久子
転生の魔 私立探偵飛鳥井の事件簿	笠井 潔	文豪の女遍歴	小谷野 敦
● 天魔の所業、もつての外なり	岩井 三四二	逆襲される文明 日本人へ 4	塩野 七生
● 吹上奇譚 第一話	吉本 ばなな	運命と復讐	ローレン・ グロフ
武者始め	宮本 昌孝	● シルバー川柳 7	全国有料老人 ホーム協会編

新 着 図 書 案 内 平成30年1月 No.2

書 名	著 者	書 名	著 者
2 歴史・地理		子どものことば 0歳児から6歳児	子どもとことば研究会
元号 全247総覧	山本 博文 編著	● きものとジャポニスム	深井 晃子
● 縄文人はなぜ死者を穴に埋めたのか	大島 直行	知ってはいけない 隠された日本支配の構造	矢部 宏治
それ、時代ものにはNGです	若桜木 虔	一生使える！大人のマナー大全	岩下 宣子 監修
文明としての徳川日本	芳賀 徹	不便でも気にしないフランス人、 便利なのに不安な日本人	西村・プペ カリン
こうして歴史問題は捏造される	有馬 哲夫	組長の妻、はじめます。	廣末 登
● 台湾人の歌舞伎町	稲葉 佳子	一人でもだいじょうぶ 仕事を辞めずに介護する	おち とよこ
ダークツーリスト 世界の混沌を歩く	丸山 ゴンザレス	● ソマリランドからアメリカを超える	ジョナサン・ スター
プラタモリ 9・10	NHK「プラタモリ」 制作班監修	家族をテロリストにしないために	ドウニア・ ブザール
移住者たちのリアルな声でつくった 海外暮らし最強ナビ アジア編	室橋 裕和	モラルハラスメント	リサ・アロンソン・ フォンテス
ヒトラーの原爆開発を阻止せよ！	ニール・ バスコム	廊の媚学	菊地 ひと美
日本の歴史を旅する	五味 文彦	発達障害の基礎知識	宮尾 益知
斎宮 伊勢斎王たちの生きた古代史	榎村 寛之	● 人口減少と社会保障	山崎 史郎
世界史のなかの天正遣欧使節	伊川 健二	47都道府県・妖怪伝承百科	小松 和彦 監修
暴かれた伊達政宗「幕府転覆計画」	大泉 光一	● ニッポンの奇祭	小林 紀晴
日本が世界に尊敬される理由は 明治維新にあった	黄 文雄	図解よくわかる住宅火災の消火・ 避難・防火	小林 恭一
オスマン帝国の崩壊	ユージン・ ローガン	● だから、居場所が欲しかった。	水谷 竹秀
イギリス現代史	長谷川 貴彦	4 自然科学・医学	
● 日本人のおなまえっ！ 1	NHK「日本人のおなまえっ！」制作班編	● なんでそうなの札幌のカラス	中村 眞樹子
3 政治・経済・社会・教育		すごい博物画 歴史を作った大航海時代のアーティストた	デイビッド・ アッテンボロー
愛と狂瀾のメリークリスマス	堀井 憲一郎	なぜあなたの疲れはとれないのか？	梶本 修身
ぼくは13歳、任務は自爆テロ。	永井 陽右	● 大学病院の奈落	高梨 ゆき子
● はじまりは愛着から	佐々木 正美	エナガの一生	松原 卓二
ニッポンの大問題 少子”超”高齢化編	石破 茂	● 子どもの脳を傷つける親たち	友田 明美
経済学講義	飯田 泰之	低気圧女子の処方せん	小越 久美
手話を学ぶ人のために	本名 信行	どうぶつたちの給食時間	並木 美砂子
日本ヤクザ「絶滅の日」	山之内 幸夫	木の実さんぽ手帖 ポケット版	亀田 龍吉 写真・文
万引き女子〈未来〉の生活と意見	福永 未来	ひとり暮らしビジネスマンのための 食事と健康大改善	松村 和夏
● プレグジット秘録 英国がEU離脱という「悪魔」を解き放つま 日本人だけがなぜ日本の凄さに 気づかないのか	クレイグ・ オリヴァー ケント・ ギルバート	● スイカのタネはなぜ散らばっているのか	稲垣 栄洋
丸山眞男の憂鬱	橋爪 大三郎	世界で一番お酒に弱い日本人	横井 秀輔
図解でわかる！地方銀行	高橋 克英	はしかの脅威と驚異	山内 一也
ブラック役場化する職場	三村 正夫	かみやすい、飲み込みやすい健康ごはん	山田 晴子 料理指導
		会社の中の発達障害	星野 仁彦

新着図書案内 平成30年1月 No.3

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書名	著者	書名	著者
4 自然科学・医学		からだが喜ぶ！藤井恵のおつまみ献立	藤井 恵
● 世界の国鳥	アフロ写真	小麦粉なしでつくるたっぷり クリームの魅惑のおやつ	森崎 繭香
熊！に出会った襲われた 2	つり人社 書籍編集部	野菜のたのしみ 私の野菜料理133	山脇 りこ
美しい科学の世界	伊知地 国夫 写真・文	SNS地獄を生き抜く オトナ女子の文章作法	石原 壮一郎
十二支読本 暦と運勢のしくみを読み解く	稲田 義行	毎日食べたいスーパーフードの おいしいレシピ108	タカコ ナカムラ
人を襲うクマ	羽根田 治	これから始まる自動運転社会は どうなる！？ 2020年？	森口 将之
● 蟲の饗宴 僕はこうして虫屋になった	奥本 大三郎	闘え！高専ロボコン	萱原 正嗣
● ヤマガラと仲間たち	熊谷 勝	四季を味わうにつぼんのパスタ	スズキ エミ
重力波発見！	高橋 真理子	子育て奮闘中の母ちゃんドクターが書いた 『男の子ママ』の悩みをぶっとばす言葉	須藤 暁子
抗生物質と人間	山本 太郎	● みそ汁はおかずです	瀬尾 幸子
絵で見てわかる定番おかずを おいしく減塩	松田 康子	はじめてでも簡単！太糸で編むマフラー・ 帽子・スヌード	朝日新聞 出版編著
100歳まで元気であるための 歩き方&杖の使い方	西野 英行	● 日本のすごい味 おいしさは進化する	平松 洋子
絵でわかる生物多様性	鷲谷 いづみ	● 日本のすごい味 土地の記憶を食べる	平松 洋子
たいへんな生きもの	マット・サイモン	福島第一原発1号機冷却「失敗の本質」	NHKスペシャル『メ ルトダウン』取材班
● こわいもの知らずの病理学講義	仲野 徹	くり返し作りたい一生ものの野菜レシピ	石原 洋子
5 技術・工業・家事		ウー・ウェンの家庭料理8つの基本	ウー ウェン
脱ネット・スマホ中毒 Ver. 2.0	遠藤 美季	はじめてでも必ず編める！ かわいいかぎ針編み小物	リトルバード編
ワタナベマキのおいしい仕組み	ワタナベ マキ	愛と憎しみを込めた旦那への猟奇的弁当	まこつ
最新ミサイルがよ〜くわかる本 各種ミサイルの機能・動作・長短所を知る	井上 孝司	● 脱力系ミニマリスト生活	森 秋子
建設中。	勝田 尚哉 写真・文	ゆる自炊弁当BOOK	オレンジページ
「てんぷら近藤」主人のやさしく教える 天ぷらのきほん	近藤 文夫	はじめてのお菓子教室	荻田 尚子
ひとつの野菜で作る常備菜	庄司 いずみ	子どもの病気SOS	草川 功 監修
「好き」と「似合う」がかなう色の 組み合わせBOOK	岩崎 沙織	フライパンで蒸し料理	堤 人美
こどもキッチン、はじまります。	石井 由紀子	● 魔法水でシミが落ちる！	横倉 靖幸 監修
まきものいろいろ	風工房	安藤忠雄 挑戦する建築家	松葉 一清 監修
川路ゆみこのニット&クロッシェ 着る、巻く、持つ。	川路 ゆみこ	いちばんやさしいゆび編みの小もの	日本ヴォーグ社
和食屋の「だし」おかず	笠原 将弘	刺し子の手しごと	日本文芸社編
● いまの科学で「絶対にいい！」と断言できる 最高の子育てベスト55	トレーシー・ カチロー	心地いい手ぬいのおしゃれ服	高橋 恵美子
きもの着付けと帯結び 新版	赤平 幸枝 監修	絶景！日本全国ロープウェイ・ ゴンドラコンプリートガイド	中島 信
● クックパッドのおいしい厳選！ おつまみレシピ	クックパッド 株式会社監修	ポウルやホーローバットで作る 焼かずに作れるケーキ	森崎 繭香
あした死んでもいい30分片づけ	ごんおばちゃま	今すぐ使えるかんたんLINE & Facebook & Twitter & Instagram完全ガイドブック	リンクアップ
● モデルが秘密にしたがる 体幹リセットダイエット	佐久間 健一	野菜たっぷり具だくさんの 主役スープ150	エダジュン
シニア世代のお洒落な秋冬日常着	ブティック社	科学的だからおいしい！お弁当のコツ	水島 弘史

新 着 図 書 案 内 平成30年1月 No.4

書 名	著 者	書 名	著 者
6 産業・商業		運慶への招待	朝日新聞出版
久米宏です。ニュースステーションはザ・ベストテンだった	久米 宏	昭和と師弟愛 植木等と歩いた43年	小松 政夫
誰でもチャレンジできる！ イラストマニュアル・はじめての養蜂	東雲 輝之	図説英国アンティークの世界	小野 まり
猫だもの ぼくとノラと絵描きのものがたり	いせ ひでこ	● 北斎漫画 肉筆未刊行版	葛飾 北斎
キャビアの歴史	ニコラ・フレッチャー	● ゴッホの耳 天才画家最大の謎	バーナデット・マーフィー
侵略する豚	青沼 陽一郎	近代絵画史 ロマン主義、印象派、ゴッホ	高階 秀爾
小麦粉の科学	大楠 秀樹	近代絵画史 世紀末絵画、ピカソ、シュルレアリスム	高階 秀爾
● トラクターの世界史 人類の歴史を変えた「鉄の馬」たち	藤原 辰史	● どうしても欲しい！ 美術品蒐集家たちの執念とあやまちに関する研究	エリン・L. トンプソン
鉄道と観光の近現代史	老川 慶喜	ピアノの名曲	イリーナ・メジューエワ
NYの「食べる」を支える人々	アイナ・イエロフ	新しい分かり方	佐藤 雅彦
● JR北海道の危機 日本からローカル線が消える日	佐藤 信之	広告チラシのかごと雑貨	寺西 恵里子
7 芸術・スポーツ		恋と歌舞伎と女の事情	仲野 マリ
● 山川静夫の文楽思い出ばなし	山川 静夫	舞台の上のジャポニスム	馬淵 明子
舞うひと 草刈民代×古典芸能のトップランナー	草刈 民代	0・1・8 総記・哲学・言語	
森のノート	酒井 駒子	すごい古書店 変な図書館	井上 理津子
● 中学生棋士	谷川 浩司	改正著作権法がよくわかる本	加藤 晋介 監修
かんたん押し絵 復刻版 額の中の小さな布絵アート	西本 典子	13歳からの「学問のすすめ」	福澤 諭吉
かんたん押し絵 復刻版 たのしい布絵アート	西本 典子	インターネットは自由を奪う 〈無料〉という落とし穴	アンドリュー・キーン
● 熊を彫る人 木彫りの熊が誘うアイヌの森 命を紡ぐ彫刻家・藤戸竹喜の仕事	在本 彌生	眠れるWindows10をたたき起こせ！	日経PC21
● 北海道美術50 学芸員が語る名品のヒミツ	北海道立 近代美術館	ひっこみ思案のあなたが生まれ 変わる科学的方法	アンディ・モリスキー
黒沢清の全貌	文学界編集部	イスラームの歴史	カレン・アームストロング
ティンパニストかく語りき “叩き上げ”オーケストラ人生	近藤 高顯	「心は遺伝する」とどうして言えるのか ふたご研究のロジックとその先へ	安藤 寿康
ぼくはこんな音楽を聴いて育った	大友 良英	自分のことがわかる本 ポジティブ・アプローチで描く未来	安部 博枝
● 馬場のぼる ねこと漫画と故郷と	馬場 のぼる	復讐手帖 愛が狂気になるとき	亀山 早苗
民藝の日本 柳宗悦と『手仕事の日本』を旅する	日本民藝館 監修	ありがとうの魔法	小林 正観
● 能 650年続いた仕掛けとは	安田 登	● 60歳からの外国語修行	青山 南
ディズニーロマンティック切り絵	Atelier * Naco	思想としての言語	中島 隆博
わくわくアイデア絵手紙	岡本 サヨ子	日本の新宗教	島田 裕巳
クレージー・ランニング 日本人ランナーは何を背負ってきたの	高部 雨市	新聞の嘘を見抜く 「ポスト真実」時代のメディア・リテラシー	徳山 喜雄
トリックアート入門 イラストと写真で描ける3Dアート	ステファン・パブスト	● 生きていくあなたへ 105歳どうしても遺したかった言葉	日野原 重明
きょうも映画作りはつづく	行定 勲	スキルアップ！ 情報検索	中島 玲子
相撲茶屋のおかみさん	横野 レイコ	近すぎず、遠すぎず。	柘野 俊明
硬い体がみるみるほぐれる 世界一効くストレッチ	荒川 裕志	金田一秀穂のおとなの日本語	金田一 秀穂

平成30年 1月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	1 元日 年末年始休館 本館休館 分館休館	2 年末年始休館 本館休館 分館休館	3 年末年始休館 本館休館 分館休館	4 年末年始休館 本館休館 分館休館	5 年末年始休館 本館休館 分館休館	6 映画会
7	8 本館休館	9 成人の日 本館休館	10	11 分館休館 ブックスタート	12	13 えほんのへやの おはなし会
14	15 本館休館	16 おはなしぽけっと カルタ大会	17 おはなし くれよん	18 分館休館 ライブラリー スタート	19	20 講演会
21	22 本館休館	23	24	25 分館休館	26 図書整理日 本館休館 分館休館	27 おはなし ぽけっと
28	29 本館休館	30	31			

図書館施設案内

	本館 こぐま号	アーニス分館	鷲別配本所	登別配本所	温泉配本所
住所	中央町5-21-1	中央町4-11	鷲別町3-3-4	登別本町3-6-7	登別温泉町58-1
電話	85-4324	81-2182	86-8823	83-1131	84-2068
休館日	月曜日・祝日 最終金曜・年末年始	木曜日 最終金曜・年末年始	年末年始のみ		なし
開館時間	10:00~18:00 (木曜のみ19:30)	10:00~20:00	9:00~18:00 (昼休みあり)	9:00~17:30 土日祝 17:00	9:00~15:00